

# 令和7年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立明德小学校  
(明德中学校区)

	国語	算数	理科
呉市教育振興基本計画(指標)	+6.0	+5.0	
令和8年度	-	-	-
令和7年度	+3.2	+17.0	+17.9
令和6年度	-5.7	-2.4	-
令和5年度	+11.8	+16.5	-
令和4年度	+9.4	+3.8	+5.7

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p><b>国語</b></p> <p>本校 70 % 全国 66.8 % 県 69 %</p> <p>言葉の特徴や使い方 情報の扱い方 我が国の言語文化 話すこと・聞くこと 読むこと 書くこと</p>	<p><b>重点課題</b></p> <p>◎目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けるために、文章の中から必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構築したりすることに課題がある。(設問3三) 【読むこと】(平均正答率0%) ◇話し合いの場で、話し手の考えと自分の考えを比較して、共通点や相違点を整理したり、聞き手の反応を踏まえながら自分の考えを分かりやすく伝えるよう工夫したりする力に課題がある。 (小 設問1三(2)【話すこと・聞くこと】(平均正答率 50%) 中 設問2二【話すこと・聞くこと】(平均正答率 66.7%))</p> <p><b>改善の方策</b></p> <p>◎複数の資料を読んで、分かったことをもとに自分の考えをまとめる活動では、読む目的を明確にさせた上で、自分に必要な情報を取り出し、整理して、自分の考えをまとめさせる。また、まとめたことを交流し、資料を効果的に活用できているかを振り返る場を設定する。 ◇説明や提案・インタビュー・討論など、話す・聞く「相手」を意識して話す活動を充実させる。話し手としては、聞き手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現や順序を工夫する学習活動を設定する。また、聞き手として、話し手の考えと自分の考えを比較したり、質問したりすることによって考えを深め、まとめる学習活動を設定する。</p> <p><b>検証</b></p> <p>◎校内実施の学力調査【読むこと】(1~6学年 12月) 目標値70%→63% 全国学力学習状況調査【読むこと】(5学年 2月) 目標値70%→33% ◇全国学力学習状況調査【話すこと・聞くこと】(小 設問1三(2), 中 設問2二) (小 第5学年 2月 中 第2学年 2月) 目標 75%→83%</p>
<p><b>算数</b></p> <p>本校 75 % 全国 58 % 県 59 %</p> <p>数と計算 図形 測定 変化と関係 データの活用</p>	<p><b>重点課題</b></p> <p>◎伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことはできているが、「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増加前の量」の何倍になっているかを表すことに課題がある。(設問4(4))【変化と関係】(平均正答率0%) ◇割合を用いた数量の関係を理解し、数量を数や文字式で表すことに課題がある。(小 設問4(4), 中 設問5) (正答率 小0%, 中33.3%)</p> <p><b>改善の方策</b></p> <p>◎基準量と比較量、割合の関係を正しく捉えるために、言葉や図、式を関連付けながら数量の関係を考察できるようにする。 ◇データを扱う学習において数量関係を説明する際、割合の考え方をを用いて表現する活動を設定する。</p> <p><b>検証</b></p> <p>◎校内実施の学力テスト【変化と関係】(4~6学年 12月) 目標値70%→77% ◇割合を用いた数量に関する問題 (小 第6学年, 2月, 中 第3学年, 2月) 目標 60%→44% 全国学力(小 設問4(4), 中 設問5)(小 第5学年, 2月, 中 第2学年, 2月) 目標 60%</p>
<p><b>理科</b></p> <p>本校 75 % 全国 57.1 % 県 59 %</p> <p>エネルギー 粒子 地球 生命</p>	<p><b>重点課題</b></p> <p>◎身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があること知識が身につけていない。基本的な理科の用語や定義が曖昧なままになっていることが課題である。 (設問2(1))【物質・エネルギー】(平均正答率0%) ◇知識及び技能を活用して、変える条件に着目した実験を計画し、予想される実験の結果を適切に説明することに課題がある。(小(設問2(2)) (平均正答率50%))</p> <p><b>改善の方策</b></p> <p>◎授業で図や表を使って分類すると共に、生活経験や実験を通して、自然の事物・現象と知識を関連付けたり知識を交互に関連付けたりして理解を深めさせる。 ◇解決したい問題を見いだすことや、学習を通して得た知識を活用して、理解を深めることができるようにする。また、児童が明確な目的を設定し、設定した目的を達成できているかを振り返り、修正するといった活動の充実を図ることで、学んだことの意義を実感できるようにする。</p> <p><b>検証</b></p> <p>◎校内実施の単元テスト【A物質・エネルギー 12月) 目標値70%→85% ◇全国学力(小 設問2(1), 中 設問2(1), 中 第2学年, 2月) 目標 60%→8%</p>

【来年度に向けて】

全国学力調査や校内の学力調査で明らかになった課題については、個々の実態に応じた指導を行うとともに、中学校区で進めている「めいといくとく・トライ」を軸とした指導方法の改善に努め、課題の解決を図る。また、課題が関連するその他の教科等の中でも取組を行う。